



# NO. 12 2021. 6 発行

# くまっぺ通信

## NPO法人子育てネットくまがや賛助会員用事業報告

私たち“子育てネットくまがや”は2011年(平成23年)3月にNPO法人となり今年2021年(令和3年)で10周年を迎えることができました。

「子育て支援、親支援、地域のみんなで育てる」をブレる事無く前に進めた事、皆様の多くの支援、応援を頂きここまで来れた事を感謝いたします。今後もスタッフ一同心をひとつにして頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## コロナ禍、悩み工夫を凝らした一年

### くまっぺ応援はがき大作戦！

緊急事態宣言の為に広場は閉鎖、利用者さんの様子も解らず、私たちに出来る事は何かを考えホームページやFacebookなどで手遊びや、絵本読み

応援メッセージの歌などをひとつずつ作り動画にして発信して行きました。当会のスタッフはいろんなアイデアや工作を作る手先の器用さ速さ、行動力「火事場の馬鹿力」と言うのでしょうか大変な時になるとまた凄く力を発揮する様です。そんな折、スタッフも自宅自粛になり動画撮影もできなくなりました。

広場に来ていた親子のみんなは元気だろうか・・・私たちの動画気づいているだろうか・・・、みんなの様子が知りたい！元気な姿が見たい！そうだ！みんなの元気を送ってもらおうと直接届く「応援はがき」を作ることにしました。

二ヶ所のくまっぺ広場は年間総数が30,000人を超えますので直近の2020年1月、2月末まで広場に来ていた利用者さん対象に約400組に送りました。メールのアドレスを入れ返信で届いたみんなの写真はホームページやFacebookに載せて新たな元気をみんなにも送ることができました。



「保育園幼稚園のあんなことあんなこと」ホップステップジャンプ特別号として発行されました。園に見学もできない年でしたのでとても役に立ちました。「くまっぺ相談室」にあります。



くまっぺ広場は、感染予防のために広場を閉鎖後、常勤以外のスタッフを自宅勤務にし事務仕事、広場で使う飾りやオンラインのペープサートなどの工作をしてもらいました。その中でも、広場利用の親子向けに自粛中のストレス緩和の為に外への散歩を提案、熊谷市内、散歩の場所の撮影をしながら動きました。スタッフが自粛中「一人じゃないよみんな一緒だよ」と少しでも楽しい子育ての時間にしてもらえるようにスタッフの家での様子などもHPやFBなどに掲載発信。FMクマガヤの「地域に広がれ子育てのわ！」は自粛中の親子へ生の声も届ける事ができました。「広場閉鎖だけでなく電話相談、来所相談できるよ、くまっぺこーむの相談窓口もあよ！」と広報なども努めました。

## 緊急事態、ステイホーム



## 三密を守りながらの広場開催

6月に入り緊急事態も解除しだし、各くまっぺ広場は順次開催に備え感染予防について（「くまっぺ」と足並みを揃えて会議打合せをしたり、備品を揃えたりと親子を守りながらの開催を迎えることができました。開催後も不備な所は打合せを再度徹底して厳しくも笑顔を絶やさず行いました。

【地域支援活動】市内の行事やイベントも中止の中、熊谷商工会議所が製作した「笑わない男」ラグビーの稲垣啓太選手を起用した「熊谷のみんなには 笑ってほしい」と呼び掛けるポスターを頂き、広場で写真を撮りホームページやFacebookに約60組の親子や家族の写真を発信しました。

## オンラインを利用しながら

週木曜日10時30分から30分間ですが、「くまっぺ広場第2」と「くまっぺ相談室」連携で地域支援として継続して行くことに致しました。広場利用の方だけではなく、家から出られない方、病気で広場に来れないお子さんなどもこの日を楽しみにしていると解かり、この活動の必要性を感じております。そして子育てに役に立つ相談ができる先生や講師に来て頂き「オンラインくまっぺ相談室」継続していきます。スタッフの研修もオンライン化になり、自宅や、広場の別室のパソコンなどで講義を受けました

両くまっぺ広場閉鎖時に行っていた「オンラインくまっぺ広場」は「ZOOM」を利用して生放送で毎



くまっぺこーむ（市役所6F）オンライン相談がはじまりました。スタッフまだ慣れず大変そうですが頑張っております。

くまっぺ（熊谷市子育て拠点連絡会）が育自ポータルサイトを開設しました。当会も所属しております。より一層、熊谷市19か所の子育て支援広場や相談室が一望出来るようになりました。

コロナ禍で「出来ない」では無く

「どうしたら前に進み出来るか」を考えた一年でした。

発行者：NPO法人子育てネットくまがや

お問合せ：080-1115-5588

発行日：令和3年6月4日

